

北海道博物館特別展

アイヌ語地名と北海道

地名をとおして北海道を見つめ直す

北海道の地名は、その多くがアイヌ語に由来します。このことは、アイヌ民族が北海道に先住してきたことの何よりの証です。明治以降に本州からの移住者が北海道へたくさん渡ってきて、そのことを示す地名が北海道の各地で見られること、また、アイヌ語由来の地名に幹事を当てはめた地名が作られたことなどは北海道の歴史の特徴をあらわすものです。特別展では、江戸時代の古地図や古文献などにしるされた地名、アイヌ語に由来する地名研究の第一人者である山田秀三の調査記録、近現代をへて現在に至る北海道の地名の特色などを紹介しながら、地名をとおして北海道を見つめ直す機会になります。

セミナーでは、北海道博物館が開催する特別展「アイヌ語地名と北海道」を担当する学芸員が、特別展の目的・趣旨ならびに展示会の見どころを紹介いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

日時 2019年7月22日(月)

14:30~15:40 ※開場 14:10

参加無料
申込不要

会場 北海学園大学豊平キャンパス

3号館4階 42番教室

住所：札幌市豊平区旭町4丁目1番40号

交通：地下鉄東豊線「学園前」下車 3番出口直結

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

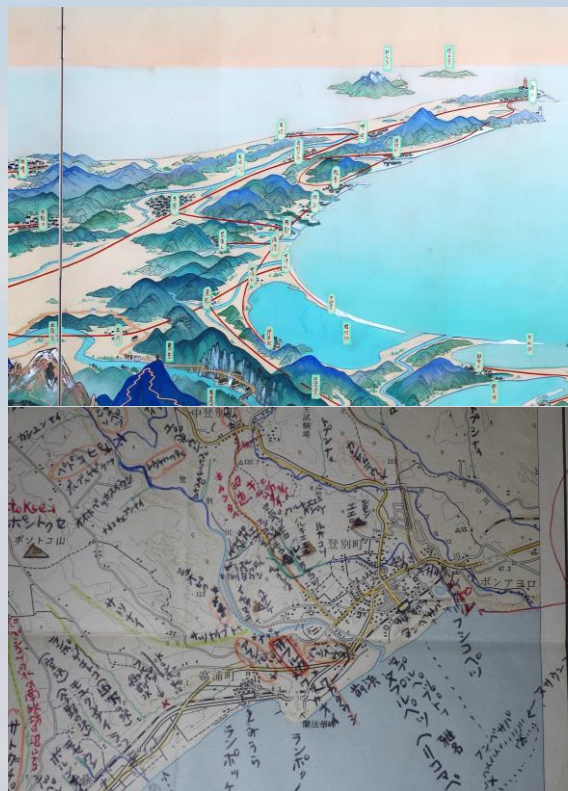
講師 小川正人氏

(北海道博物館学芸副館長兼アイヌ民族文化研究センター長)

北海道博物館第5回特別展「アイヌ語地名と北海道」

2019.7.6(土)~9.23(月)

特別展 アイヌ語地名と北海道



お問い合わせ：北海学園大学 地域連携推進機構（開発研究所内） 011-841-1161（内線 2253・2254）

主催：北海学園大学 地域連携推進機構 共催：北海道博物館 後援：専門図書館協議会北海道地区連絡会

本セミナーは、「北海道みんなの日：7月17日」に協賛し、北海道及び学校法人北海学園が北海道と締結する包括連携協定

(協力事項：教育・文化の振興、生涯学習及び人材育成の推進に関すること)に基づき開催するものです。